

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 河内 正美

TEL 0277-54-7120

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	36,164	—	208	—	△449	—	△1,406	—
20年3月期第3四半期	37,181	△2.6	521	△54.5	622	△55.4	△124	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△93.74	—
20年3月期第3四半期	△8.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	43,448	14,518	32.8	950.11
20年3月期	46,775	17,733	37.4	1,163.37

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,253百万円 20年3月期 17,463百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	△13.2	△1,340	—	△2,550	—	△3,550	—	△236.57

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 オグラクラッチタイランド) 除外 1社(社名)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

【(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

【(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 15,533,232株 20年3月期 15,533,232株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 531,545株 20年3月期 522,454株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 15,006,124株 20年3月期第3四半期 15,013,951株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月13日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程および業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油・資源価格の高騰に始まり、金融市場の混乱と輸出の大幅な減少および企業収益の悪化にともなう設備投資の抑制など未曾有の状況に陥りました。世界経済では、サブプライム危機に端を発したリーマン・ブラザーズの経営破綻で深刻化した信用不安、金融危機が実体経済に波及し、先進国経済は急激に悪化しました。中国や新興国経済は、先進国と比べ総じて高成長ではあったものの、先進国経済の影響を受け、そのペースは減速しました。

当社製品の主要需要先である自動車業界におきましては、国内生産は当初好調な輸出を背景に堅調に推移しておりましたが、世界経済の悪化による需要の急激な落ち込みが顕著となった第3四半期以降は大幅な減産を余儀なくされました。また、海外における自動車の需要は、米国においては景気悪化により大幅な不振が続いております。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりましたが、輸送機器用クラッチ部門は、国内外における自動車市場の縮小の影響を受け前期比売上減となりました。一方、マイクロクラッチ・一般産業用クラッチ部門は、上半期における昇降機向けやモーター業界向けおよび自動車関連業界向けの需要増により前期比売上増となりました。

結果として、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.7%減の36,164百万円となりました。利益面につきましては、鋼材価格の上昇や為替相場の円高による売上高の目減りなどにより、営業利益は60.1%減の208百万円となり、経常損益は為替差損の発生などにより449百万円の経常損失に転じ、四半期純損益は「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用や繰延税金資産の取り崩しなどにより1,406百万円の四半期純損失となりました。

なお、「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同四半期増減率および前年同四半期の金額につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、主に売掛金と棚卸資産の減少等により29,277百万円(前期末比2,076百万円減)となりました。固定資産は、主に有形固定資産の減少等により14,164百万円(前期末比1,236百万円減)となりました。その結果、総資産は43,442百万円(前期末比3,313百万円減)となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に仕入債務の減少等により21,667百万円(前期末比945百万円減)となり、固定負債は、主に長期借入金の増加等により7,261百万円(前期末比853百万円増)となりました。その結果、負債合計は28,929百万円(前期末比91百万円減)となりました。

(純資産の部)

純資産は、主に利益剰余金と為替換算調整勘定の減少等により14,512百万円(前期末比3,221百万円減)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、米国発のサブプライム問題が金融危機として世界経済に深刻な影響を及ぼし、各国で自動車市場が急速に縮小しており、当社においても大幅な減収が見込まれます。また、為替相場の急激な円高による為替差損の発生、米国子会社の業績悪化にともなう固定資産の減損処理や当期の業績見通しを踏まえての繰延税金資産の取り崩しなどの要因が予想されることから、通期業績予想を修正いたします。

第4四半期連結会計期間の為替レートにつきましては1ドル90円、1ユーロ120円を想定しております。

なお、業績予想に関する事項につきましては、本日平成21年2月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

・期末配当予想について

期末配当予想につきましては、平成21年3月期の業績予想が大幅に下方修正となりましたので、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

なお、期末配当予想に関する事項につきましては、本日平成21年2月13日公表の「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

平成20年7月に設立した特定子会社のオグラクラッチ・タイランドを連結の範囲に含めました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

税金費用の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。

なお、これにより営業利益、経常利益がそれぞれ8百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が253百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

なお、これによる損益への影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,812	7,368
受取手形及び売掛金	13,064	14,628
有価証券	76	75
商品及び製品	2,935	3,524
仕掛品	2,509	2,995
原材料及び貯蔵品	1,349	1,613
繰延税金資産	16	273
その他	652	915
貸倒引当金	138	41
流動資産合計	29,277	31,354
固定資産		
有形固定資産	10,830	11,536
無形固定資産	208	162
投資その他の資産		
その他	3,247	3,751
投資損失引当金	50	50
貸倒引当金	72	-
投資その他の資産合計	3,125	3,701
固定資産合計	14,164	15,400
資産合計	43,442	46,755
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,644	12,638
短期借入金	9,408	8,153
未払法人税等	94	101
賞与引当金	75	412
その他	1,445	1,307
流動負債合計	21,667	22,613
固定負債		
長期借入金	5,976	5,427
繰延税金負債	625	418
役員退職慰労引当金	401	364
退職給付引当金	104	78
債務保証損失引当金	11	13
その他	142	105
固定負債合計	7,261	6,408
負債合計	28,929	29,021

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	12,550	14,176
自己株式	340	337
株主資本合計	15,912	17,542
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	248	509
為替換算調整勘定	1,908	589
評価・換算差額等合計	1,659	79
少数株主持分	259	270
純資産合計	14,512	17,733
負債純資産合計	43,442	46,755

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	36,164
売上原価	31,632
売上総利益	4,532
販売費及び一般管理費	4,324
営業利益	208
営業外収益	
受取利息	54
受取配当金	37
不動産賃貸料	62
その他	106
営業外収益合計	260
営業外費用	
支払利息	161
手形売却損	36
持分法による投資損失	96
為替差損	545
その他	78
営業外費用合計	918
経常損失()	449
特別利益	
投資有価証券売却益	88
その他	3
特別利益合計	92
特別損失	
投資有価証券評価損	107
たな卸資産評価損	244
退職特別加算金	89
その他	4
特別損失合計	446
税金等調整前四半期純損失()	803
法人税、住民税及び事業税	192
法人税等還付税額	42
法人税等調整額	449
法人税等合計	599
少数株主利益	3
四半期純損失()	1,406

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社グループは、電磁クラッチ、機械・特殊クラッチの製造販売を主事業としている専門メーカーですが、当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める1セグメントの割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米及び 南米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	22,668	8,040	3,279	2,176	36,164	-	36,164
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,505	347	-	482	6,334	(6,334)	-
計	28,174	8,387	3,279	2,658	42,499	(6,334)	36,164
営業利益	46	116	119	64	20	187	208

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び南米...米国、ブラジル

(2) ヨーロッパ...フランス

(3) アジア...マレーシア、中国

3. 会計処理の方法の変更

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、たな卸資産の評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、日本で8百万円減少しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	北米及び南米	ヨーロッパ	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	8,040	3,297	3,915	15,252
連結売上高(百万円)	-	-	-	36,164
海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	22.2	9.1	10.8	42.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)北米及び南米...米国、カナダ、ブラジル

(2)ヨーロッパ...フランス、ドイツ

(3)その他の地域...マレーシア、中国

3. 海外売上高は、提出会社の輸出高並びに本邦以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上高を除く)であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
売上高	37,181
売上原価	32,317
売上総利益	4,863
販売費及び一般管理費	4,341
営業利益	521
営業外収益	403
営業外費用	302
経常利益	622
特別利益	6
特別損失	368
税金等調整前四半期純利益	260
税金費用	400
少数株主利益	15
四半期純利益	124